

# KUNIMI くにみ 議会だより

No.171  
12月議会号



## 未来へ向かって芽吹く若い力

1月8日、観月台文化センターでの成人式。元校長先生と未来を語り合います。気持ちを新たに、二十歳を迎えた皆さんの若い力で国見にさらなる活力を！

### 12月定例会

**道の駅開業に向けた準備が進む**  
(平成28年度補正予算) P2

農産物加工施設設置条例など新たに条例を制定 P4  
一般質問(町長の2期目の町政に向けた抱負など9人が登壇) P7  
福島第一原子力発電所視察や常任委員会活動について報告 P17

発行 ● 福島県国見町議会 編集 ● 議会広報常任委員会 発行日 ● 平成29年1月31日

〒969-1792 福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁田二1番7 TEL.024(585)3295 FAX.024(585)2181 <http://www.town.kunimi.fukushima.jp/gikai>



# 道の駅開業に向けた準備が進む

## 情報発信事業や備品の購入費779万円を計上

12月議会定例会は12月6日から9日まで4日間の会期で開かれました。今定例会には、道の駅の開業に向けての情報発信事業や備品購入費などの平成28年度補正予算、農産物加工施設設置条例、道の駅設置および管理に関する条例の一部改正など18議案が提出され、すべて原案どおり可決されました。一般質問では9人の議員が登壇し、15項目にわたって町政をたずねました。

### 質疑

#### 一般会計

**仮設住宅の不要備品とは何か**

**問** (渡辺勝弘議員) 財産管理費の機器設置工事130万円は、仮設住宅の不要備品を公共施設に再利用するための移設工事だが、不要備品とは何

を指すのか。また、130万円の根拠は。  
**総務課長** エアコン、便座、給湯器、物置などである。また、予算の内容は、エアコン2台を小学校とももたん広場に、便座は文化センターに、給湯器は上野台の体育館に、物置は駅前倉庫、文化センター、各運動施設に設置するための工事費で積算した。

#### 人・農地プラン作成支援業務で増額の内容は

**問** (松浦常雄議員) 人・農地プラン作成支援業務105万円の内

**果樹産地育成対策事業で減額の理由は**  
**問** (井砂善榮議員) 果樹産地育成対策事業で626万円の減額とあるが、内容を伺う。  
**産業振興課長** 当初予算で補助金として国、



道の駅工事の進捗状況を視察(産業建設常任委員会)

### 部活動補助金は何に使われるのか

**問** (松浦常雄議員) 中学校部活動補助金318万円があるが、今の時期だどどのように使われるのか。  
**教育次長** 実績に基づく部分で、バスケットボール男子、ソフトテニス女子が東北大会に出場した交通費、参加費が主である。また、新人大会でバレーボール男子、ソフトテニス女子が県大会に出場した。これからソフトテニス山形県での大会に出場予定である。

るさと産品の返礼品のことだが、その中身を伺う。また、全国的にふるさと納税額が上がって返礼品もグレードアップしているが、町では将来的に他の市町村と競争に走る形で返礼品を考えているのか。  
**総務課長** これから想定されるふるさと納税額として、物の代金と業者へ支払う手数料、送料を合わせ350万円である。寄附の残りは基金積立金に149万円計上している。

### 納税者に返礼するふるさと産品の内容は

**問** (渡辺勝弘議員) ふるさと納税業務委託350万円の計上は

また、町では「ふるさと納税町特産品贈呈事業実施要項」を定めており、納税者に特産品を贈呈して感謝の意を表し、特産品を広く知らせることが主旨である。今後とも主旨を守りながらより良くふるさと納税制度を活用して町のPRに努めたい。

### 高齢者配食サービスの利用者は何人か

**問** (阿部泰蔵議員) 高齢者配食サービス事業66万円について、現在配食を受けている高齢者は何人で、今後増加する配食数はどのくらいか。  
**保健福祉課長** 利用者は10月現在で51人である。利用者が増加したため、配食数が8300食から1万5000食になる見込みで増額をした。

### 赤井畑線の土地購入の考えはあるか

**問** (八島博正議員) 旧大和田スタンドの土地購入費369万円があるが、隣接する県道赤井畑線の購入はどのように考えているのか。  
**総務課長** 県道については、県との協議や近隣の方々との話し合いもある。どの線が県道が廃道になるのかも含め、今後協議を進

### 経済対策臨時福祉給付金の内容は

**問** (渡辺勝弘議員) 経済対策臨時福祉給付金2100万円の増額があるが、その内容を伺う。  
**保健福祉課長** 消費税の引き上げによる所得が低い方への影響を緩和す

めながら区域を確定し、最終的には町で土地を購入して役場敷地の一部としたい。

平成28年度一般会計補正予算(第6号)のおもな内容	
<b>【主な事業】</b>	
・町債(借金)返済	2億4778万円
・臨時福祉給付金の事業費	2235万円
・道の駅開業準備補助金	410万円
・道の駅開業に向けた情報発信事業	369万円
・旧大和田スタンドの一部の土地購入費	369万円
・災害援護資金の返済	376万円
・ふるさと納税事業費	355万円
・義経の腰掛松覆屋改修事業費	323万円
・中学校部活動補助金(東北大会出場など)	318万円
・高齢者福祉計画等の策定に向けた事前調査費	274万円
・道の駅に光回線を引き込む工事費	216万円
・その他(人・農地プラン作成委託費の増額分など)	966万円
計	3億989万円
<b>【主な財源】</b>	
・前年度からの繰越金	2億7472万円
・国・県からの補助金(経済対策臨時福祉給付金に係る補助金など)	1421万円
・町債(借金)	1130万円
・ふるさと納税(寄付金)	500万円
・その他(災害援護資金の返還金など)	466万円
計	3億989万円



## 条例制定

# 農産物加工の技術向上 と人材育成を図る

### 国見町農産物加工施設設置条例

(要旨) 農産物加工の技術向上と人材育成を図り、町の農業の6次化を推進するために森江野町民センター内に農産物加工施設を設置する。

(全員賛成で可決)

### 農業委員会法の改正で農地利用の最適化を目指す

国見町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例

(要旨) 農業委員会等に関する

### 人事委員会勧告に基づき給料表を改正

職員の給与に関する条例

(要旨) 人事委員会勧告に基づき給料表を改正する。勤勉手当を1・6月から1・7月に、扶養手当の見直しを29年4月から段階的に実施する。

(全員賛成で可決)

## 問

(松浦和子議員)

人事委員会勧告に基づいてのものが、扶養手当が孫、祖父母まで及ぶことは一般企業では考えられない。職員は自覚して欲しい。

国が子育て支援などを中心に進めており、国の姿勢が勧告に反映された。民間企業でも同じような動きもある。全体を把握しての判断の下に勧告されている。

## 条例改正

### 農産物加工施設へ用途変更

森江野町民センター

(要旨) 森江野町民センター多目的ルームを農産物加工施設へ用途変更することに伴い、使用料の別表から項目を削除する。併せて指定管理者を置くことができる条文を追加する。

(全員賛成で可決)

### 農業委員会等の法律改正で報酬を定める

特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例

(要旨) 農業委員会等に関する法律が改正、施行されたことに伴い、農業委員会会長、同職務代理人、農業委員の年額報酬のほかに能率給を定める。また新しく

はあるのか。自薦・他薦、産業振興 個人・団体を問わず広く公募して選任する。

それぞれの委員の仕事の内容は。

農業委員は農地法上の許可など、法律上の問題を協議する。推進委員は現場管理を主とし農地の集積や耕作放棄地対策、農地パトロールなどを担う。現在の農業委員の業務が2つに分かれた内容である。

農業委員と農地利用最適化推進委員は兼務できるのか。

法律によって産業振興 兼務は禁止されている。

新しい委員は町長が選任することだがJA、共済組合などの配分

「道の駅国見」の名称を「道の駅国見あつかしの郷」とする。(全員賛成で可決)

### 道の駅の名称が決定

国見町道の駅の設置及び管理に関する条例

(要旨) 「道の駅国見」の名称を「道の駅国見あつかしの郷」とする。(全員賛成で可決)

### 道の駅の管理者を指定

公の施設の指定管理者の指定について

(要旨) 「道の駅国見あつかしの郷」の指定管理者を国見まちづくり株式会社とする。(全員賛成で可決)

### 交通事故の損害賠償を支払う

損害賠償の額の決定及び和解について

(要旨) 職員が公用車を運転中、車両前方部が歩行者と接触し負傷させた。相手

委嘱される農地利用最適化推進委員に関し、その年額報酬および能率給を定める。(全員賛成で可決)

能率給は成功したら受けられるのか、成功の有無に関わらず活動に対してももらえるのか。

能率給は、識見を高めるための研修会への参加などの活動実績分と、農地の集積実績などに基づく成果実績分とに分かれている。

報酬と同様に、能率給も各市町村で金額に違いはあるのか。

原資は国の農地利用最適化交付金で、予算の範囲内で各市町村に交付される。農地の集積状況や耕作放棄地の解消状況をポイント化して全国で案分をするため、国の予算額や各市町村の取り組み実績によって増減は出てくる。

### 町営住宅外壁等の改修を行う

工事請負契約

(要旨) 滝山団地(1・2号棟)外壁等改修工事について、指名競争入札により1億1016万円で「有限会社佐久間工業」と契約する。(全員賛成で可決)

### 道の駅、農産物加工施設の備品を購入

動産の取得2件

(要旨) ①道の駅国見あつかしの郷の備品一式を購入する。  
・購入先 株式会社岡村製作所(郡山市)  
・購入金額 5998万6440円  
②国見町農産物加工施設厨房備品一式を購入する。  
・購入先 ホシザキ東北株式会社(福島市)  
・購入金額 2581万2000円  
(2件とも全員賛成で可決)



12月に道の駅プレバティを開催



～9人の議員が登壇し、活発な議論を展開～



議員	質問事項	ページ
松浦 常雄	町長の2期目の町政への抱負は	8
	平成29年度予算編成の基本方針を伺う	
	道の駅国見あつかしの郷の特徴と集客の工夫は	
八島 博正	町のエネルギー政策の方向性は	9
松浦 和子	シンボルである阿津賀志山と道の駅の連携は	10
	小学生の研究発表から考えるまちづくりへの取り組みは	
佐藤 定男	敬老祝金は節目の年齢者に支給しては	11
村上 一	公共施設の統廃合も検討すべきでは	12
	町のPRに応援大使の効果はあるか	
阿部 泰藏	水道料金の見直しと今後の課題は	13
浅野 富男	食育に関連し給食費を補助する考えはあるか	14
	国保都道府県単位化の主な協議事項は	
村上 正勝	ぜひ住みたいと思うまちづくりへの考えは	15
	水辺の小楽校の存在を知らせてほしい	
渡辺 勝弘	子育て支援推進協議会の充て職の考え方を見直すべき	16

質問、答弁は要約して掲載しています。会議録全文は、町議会ホームページに掲載予定です。[<http://www.town.kunimi.fukushima.jp/groups/gikai/>]

国見町議会ホームページ → 会議録検索 → 会議録検索システム → 会議録検索システムへ

# 町政を問う

一般質問

## 12月定例会

一般質問とは、議員が町政全般にわたり執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

### 太田 久雄 町長 所信表明 (抜粋)

#### 【3つの基本理念】

##### 国見町の維持とさらなる発展

「ふるさと国見町」を1つの自治体としてしっかりと維持し、未来に向けて安全安心、活力、思いやりのある「魅力あふれる国見町」に発展させる。

##### 町民主役と町民総参加の町政の実現

町民の皆様の目線で十分連携を図りながら、また、町民の皆様がそれぞれの立場でかけがえのない役割を発揮し、町民主役と町民総参加の町政を実現する。

##### 国、県、市町村、関係機関との連携

交流連携を軸に、国、県、近隣市町村をはじめ、国見町と各種の協定を締結した自治体、大学等の関係機関と十分に連携を図る。

東日本大震災、原発事故からの復興・再生は道半ばである。今後も国見町民・関係団体が一丸となって、安心・安全で「魅力あふれる国見町」をつくり、国見町を一つの自治体として、将来に向けて維持発展させることが重要な課題である。

「復興・絆・交流連携」-「国見の未来をみんなで作りましょう」をスローガンに主に3つの基本理念・姿勢のもと「オール国見」の精神を念頭におき「ずっと好きです国見町」「自立したキラリと輝く国見町」を目指し、全力を注ぎたい。

#### 【国見の未来をつくる5つの具体的な約束】

- 東日本大震災からの早急な復旧・復興
- 安全安心な町政の実現
- 活力ある町政の実現
- 思いやりのある町政の実現
- 町の継続的な維持発展

## 意見書

12月定例会では意見書1件を賛成多数で可決し、国など関係機関へ送付しました。

### 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

町村では議員への立候補者が減少して住民の関心の低下や地方議会議員のなり手不足が大きな問題となっており、地方議会議員の年金制度を時代に相応しいものにすることが新たな人材確保につながると考え、加入を求めるもの。

**可決**  
(賛成9、反対2)

#### 賛成討論

佐藤 定男議員

現在の地方政治のあり方について、改善の1つとすべく提案されたものである。これにより地方政治が直ちに改善されるものではないかもしれないが、まず1つの入口を設けることでその後の制度や状況に応じて改善がなされるものと考え、賛成する。

#### 反対討論

浅野 富男議員

政治参加の促進は民主政治の進展に重要だが、町村では政治参加を議員として行うのは厳しいものがあるのが現実。格差社会で生活も厳しい中で国民年金だけでは生活できない実態もある。議員の地位だけでなく、現実を含めた議論の中で政治参加を進めるべきだが、現在まだそのような状況になっていないため、賛同できない。

#### 反対討論

松浦 常雄議員

所得や年齢での制限が大変厳しく、どれだけの人か加入できるのか疑問である。もっと内容を吟味しなければ、現段階では賛同できない。



### Q 町長の2期目の町政への抱負は

#### A 復興・まちづくりの前進のため全力で取り組む



松浦常雄議員

**問** 町民の期待をどのように受け止めているか。2期目の町政への抱負を伺う。

**町長** 1期目の4年間の支援により、大震災からの復旧復興や元気活力事業など本当に一步一歩進めてきて、光や元気が見えてきた。復興・再生などの

**問** 課題はまだ道半ばであり、復興やまちづくりをさらに前進させるため、全力で町政を執行することを強く誓う。

#### 平成29年度予算編成の基本方針を伺う

**問** 平成29年度の町の予算編成の基本方針を伺う。

**町長** 来年度は、震災後6年目となり、補助金の削減が心配される。予算編成の裏付けとなる財源の確保は十分か。

**問** 緊急避難所の機能を果たせているのが第一の特徴。また、里まち交流や観光拠点としての位置づけ、宿泊や子育て支援など多機能にわたる複合施設であることも大きな特徴と言える。

**問** 10月17日の新聞に、伊達市は、国道4号線沿いにイオンモールを核とする東北最大級の商業施設を誘致する体制を整えたと報道した。その施設ができた場合でも、「道の駅国見あつかしの



着々と工事が進む道の駅国見あつかしの郷

**総務課長** 補助率の良い事業を活用できるように取捨選択し、国・県支出金の充当できる事業で対応する。また、交付税措置のある有利な起債を充当できるよう努力をしたい。

#### 道の駅国見あつかしの郷の特徴と集客の工夫は

**問** 「道の駅国見あつかしの郷」の特徴や他にない優れた点は何か。

**建設課長** 緊急避難所の機能を果たせているのが第一の特徴。また、里まち交流や観光拠点としての位置づけ、宿泊や子育て支援など多機能にわたる複合施設であることも大きな特徴と言える。

**町長** 道の駅の立地条件などの優位性や各種事業の経験を踏まえ、町の特徴を出した道の駅にするべく鋭意進めている。そうした上で多くの方が注目する、集客でき得る施設になると考えている。特徴を出すことに十分意を配し、経営の安定化に前向きに取り組む。

### Q 町のエネルギー政策の方向性は

#### A エネルギー政策は国が一元的に担うものである

**問** 県は原発事故を受け、原子力発電から水力や風力などの再生可能エネルギーによる発電に方向転換した。町でも公共施設に太陽光パネルの設置を進めているが、今後もこの方向性は変わりないのか。

**町長** 町長は「ずっと好きです国見町」をオール国見で実現していくと言っている。そのためには町民が国見町に住んで良

**町長** 町として未来に向けて維持発展していくためには、国・県、近隣市町村や首都圏などと連携を図ることが必要であり、その延長線上に国際化の問題があると考えている。小さな町では観光交流協会の国際交流部会を作るケースが多い。観光をベースにその一環として国際化があるといったイメージが国見型かなという思いはある。

**問** 近隣にも国際交流協会を立ち上げた自治体がある。中高校生の海外派遣など組織の中で海外の研修をさせながら人づくりをすることも大切だと考えるが、町でも協会を作る考えはあるか。

**企画情報課長** 町が主催をする海外派遣は、財源や安全性を考慮しなければならぬため、主体的に実施することは難しい。国や県、公益的な団体の国際交流へ参加する場合はこれまでの実績に基づき支援することは可能である。その上で、国際交流協会については、さまざまな方々との意見交換や熟度の中で進めていくものと考えている。



八島博正議員



議会でも福島第一原発の現状を確認(東電職員より説明)

**問** 歴史まちづくりの具体策が見えない。中尊寺ハスや阿津賀志山展望台周辺の整備、案内板の設置など、具体的な取り組みについて伺う。



### Q シンボルである阿津賀志山と道の駅の連携は

#### A 町民の手で道の駅と観光を結びつけたい



松浦和子議員

山頂をセットでならと史跡の指定を認めたと聞いている。石母田財産区との契約書も観光開発用地として締結するとあり、率先してできる整備ではないのか。

**まちづくり交流課長** 「1000年」のまち。これから100年のまちづくり計画」にも阿津賀志山山頂も当然入っている。しかし、森林法の縛りもあり、今すぐ開発ができるものではない。国見でき得るものは何なのかを精査していく必要があると思う。国の基本法をうまく活用し、阿津賀志山の山頂や防塁

**問** 6月の一般質問で、阿津賀志山山頂を見晴らし良く整備するのが喫緊の課題と申し上げた。町民からの情報で阿津賀志山山頂のつっじの枝が無残に切られたと知った。あそこまで切ったのはなぜか。

**問** 文化庁は防塁が山頂から一望できるとして、防塁と

として実施した。除染前は1メートルの高さで0・24マイクロシールドであり、訪れる方々の安心安全を第一に考え、空間線量率を極力低減させるためのものである。

など、道の駅を核とした歴史めぐりのコンテンツに作り上げたいと考えている。

**問** 町長の言う「交流・連携」から道の駅と阿津賀志山との連携をどう考えているか。

**まちづくり交流課長** 道の駅を核に町内をめぐるコース作りも案として出ており、町内の若者とワークショッ

プをしながらコースの協議もしている。町民が町の良さを再認識し、町外にアピールする取り組みに着手したところである。

道の駅と町内の観光スポットを結びつけるのは町民の皆さんであり、うまく二者、三者間の連携をとり、情報発信をしていきたい。

### 小学生の研究発表から考えるまちづくりへの取り組みは

#### 問 国見小学校6年生の調査、研究の成果の発表は、町の将来への夢があった。住み続けたいと思えるまちづくりへの取り組みについて伺う。

**問** 国見小学校6年生の調査、研究の成果の発表は、町の将来への夢があった。住み続けたいと思えるまちづくりへの取り組みについて伺う。



こんな国見町になったらいいな (教育フォーラム)

**町長** 子どもたちの提言は素晴らしい、見どころいっぱい、バスツアーや道の駅オリジナルエコバッグの配布、スイーツマラソンの開催など、今後町政に活かしていきたい。復興・再生をベースに、4大イベントなどでの魅力づくりを大切に、住みたくなる国見町につながるよう接点接点で事業化することが重要だと思う。子どもたちの意見を十分踏まえ、町政に反映させていきたい。

### Q 敬老祝金は節目の年齢者に支給しては

#### A 高齢者福祉対策の大きな枠の中で考えていく

**問** 敬老祝金は町の高齢者に対する一定の対象者に対して支給されている。近年の高齢化により対象者が増加し財政負担も重くのしかかってきている。今年度の敬老祝金支給の実績を問う。

**課長** 敬老祝金は町の高齢者に対する一定の対象者に対して支給されている。近年の高齢化により対象者が増加し財政負担も重くのしかかってきている。今年度の敬老祝金支給の実績を問う。

**問** 10年前、平成18年度の実績はどうか。

**課長** 平成15年があり、18年度は経過措置として84歳以上の方に祝金を支給した。対象者の400人に対し1万円、99歳以上5人に20万円を支給した。合計500万円となる。

また、敬老会の記念品は80歳の方141人にバススタオルを、88歳の方35人に記念写真を贈呈している。

**問** 実態として受給対象者は確実に

近隣市町と比較すると国見町は支給要件や金額は高い状況にあ

る。そのあり方については検討したい。

**問** 節目の年に支給すれば当然支給総額は減る。例えば今年10月現在で77歳の116人、88歳の75人にそれぞれ1万円支給すると合計191万円である。99歳未満では今年度実績より413万円減少となる。

減額となった分はいくらかを子育てや教育のための資金に回せば高齢者の理解も得られると思うが。

**町長** 近隣市町の支給基準と比べても比較的高い水準であり、敬老祝金のあり方をベースから検討することは必要だと考えている。その際、敬

老祝金だけを個別の問題として議論することは避けた。もう少し広い視点で高齢者全体の政策がどういう形で行われているのか、その枠の中で敬老祝金の位置づけはどうかを十分検討する必要がある。そして高齢者団体、社会福祉協議会、寿クラブなどの意見を聞きながら、検討していく土俵づくりを来年度以降やっていく必要があると考えている。



敬老会の対象者も増えてます



佐藤定男議員



### Q 公共施設の統廃合も検討すべきでは

### A 今年度中に公共施設等総合管理計画を策定する



村上 一議員

**建設課長** 管理は国の施設なので、除染の状況や施設の復旧具合を見ながら国と相談していきたい。

**問** 今後整備を進める公共施設はどのようなものか。

**総務課長** 大きなもので、地方創生事業を活用した農業ビジネス訓練所の計画がある。6次化を進めるにあたり、農業の担い手の育成、多目品種栽培農場の支援を目的とし、栽培された農作物は道の駅に出荷・販売を行う計画である。

**問** 行政コスト削減の為、公共施設の統廃合も現実的に検討すべきではないか。町としての計画はあるか。

**総務課長** 平成28年度中には町の公共施設等総合管理計画を策定することとしており、施設の具体的な再編も含めた個別計画を、平成32年度までに順次策定予定である。

PRに対応していたらいい。今後も著名人とのコラボにより、町の知名度の向上につなげていきたい。

### 問

町のPRにはふるさと納税は重要だが、現時点での状況はどうなっているのか。

**総務課長** 11月末現在で総額4384万円、前年度を大きく上回っている。

### 問

返礼品では、将来的に道の駅の宿泊券や食事券、果物のオーナー制度、民泊クーポンなどを増やす予定はあるか。

**総務課長** ふるさと納税制度は寄附による



応援大使として町の事業にも協力

の特例控除である。返礼品は寄附された方の一時所得となるので、総務省の通知には、誤解を招かぬよう価格や返礼品の割合を表示しない、換金性の高いクレジットカードや高額

の返礼品は控えること、とある。通知に反しないように十分に調査をし、今後検討していきたい。

返礼品では、将来的に道の駅の宿泊券や食事券、果物のオーナー制度、民泊クーポンなどを増やす予定はあるか。

**町長** スポーツ紙にも取り上げられ、その都度国見の発信に非常に役立つている。また、応援大使には名刺や法被の交付をしており、口コミでの

**問** 町では、著名人に対し町の応援大使をお願いしているが、具体的な効果はあるのか。

**町長** スポーツ紙にも取り上げられ、その都度国見の発信に非常に役立つている。また、応援大使には名刺や法被の交付をしており、口コミでの

### Q 水道料金の見直しと今後の課題は

### A 経営の安定化を図り現行料金を維持する

**問** 町の一般家庭の水道料金は、1か月20トン4519円である。全国平均の3196円より1323円高い状況にある。水道事業内容も健全であるが、水道料金の値下げの考えはあるか。

しく統合するエリアの簡易水道の新たな設備投資など、多額の費用が見込まれる。水道料金は現状維持をせざるを得ない。

**問** 近隣市町の水道金が高いのは、企業団受水費の影響なのか。

**問** 町の水道料金の決め方は、用途別・基本料・超過料金・メーター使用料で定めているが、近隣市町では口径別料金体系である。口径別料金についての考えは。

**上下水道課長** 福島県内金は14市町村、口径別料金45市町村の状況である。国見町も口径別

**上下水道課長** 今後、人口減少により給水人口の減少と施設の老朽化に加え、新

**上下水道課長** 受水費単価1トン当



阿部泰蔵議員

**上下水道課長** 福島県内金は14市町村、口径別料金45市町村の状況である。国見町も口径別



毎日使う水道

**問** 水道の経費を負担するには、用途別と口径別どちらが公平なのか。

**上下水道課長** 現在の用途別料金も一定条件で料金を設定しており公平だと認識しているが、施設の負担を公平に負担していくという点では口径別がふさわしいと考えている。

**問** 水道メーターの使用料金は、基本料金の中に含まれないのか。

**上下水道課長** メーター使用料金は、用途別を採用する事業体では一般的に個別に料金を徴収しており、町でも同様に考えている。

**問** 今後の水道料金の課題と取り

組みについて伺う。今後、人口減少により、水道料金収入の減少が懸念される。また、施設の老朽化対策、漏水をフォローし有収率を80%以上に保つことなどで経営の健全化・安定化を図ることが課題となるが、現行料金をできる限り維持していきたいと考えている。



受水施設を確認



### Q 食育に関連し給食費を補助する考えはあるか

### A 現行の補助の維持を方針とする



浅野富男議員

近年では、食育に対する見方も重要視されている。食育との関連では全額補助も含めて補助すべきことと考えられるがいかかか。

#### 教育長

食育基本法にのっとって進めている。保護者負担は賄材料費のみであり、給食にかかる費用の約半分にあたる。就学援助を受けている人は全額補助となっている。今後はこの補助の維持をしていく方針である。

**問** 子育て環境では、本町でも様々な取り組みが進められているが、さらに充実したものに整える必要がある。町の人口増という目標で考えても子育てしやすい環境づくりは大切なことである。町の考え方を伺う。

#### 教育長

平成28年度から32年度までの第5次振興計画の後期計画では、国見町に育つ子どもは町の宝であり、安心して産み育てる環境を築くことは緊急の課題と明記しており、重要な位置づけと認識している。

**問** 県内では全額給食費の補助を実施する

**町長** 福島県市町村国保広域化等連

る町村が増えている。このことについての所見はどのようなものか。

#### 教育長

食にかかわる人々の活動に支えられていることを理解し、労働を尊ぶことも目的であり、費用の負担もあることを理解するのにも食育の一面と理解している。現行の給食費補助を維持し、さらに今後子育て支援の枠組みの中で検討していきたい。

### 国保都道府県単位化の主な協議事項は

**問** 平成30年4月から国保は都道府県単位化が開始となる。現在そのための協議はどこまで進んでいるか、主な協議事項は何か。

**問** 町民にとって負担は最大の関心事である。県内均一になるのか。

**保健福祉課長** 県への納付金や標準保険料率の試算の中で国見町の医療水準に合った設定を行うこと、また市町村事務の標準化では被保険者の利便性の低下につながらないようにしっかりと協議を行うことと考えている。

### Q ぜひ住みたいと思うまちづくりへの考えは

### A 交流人口を増やし町の活性化につなげたい

**問** 道の駅を中心とした情報発信や交流事業を進めることで、国見町に住みたいと思うようなまちづくりをどのように考えているか伺う。

#### 町長

道の駅自体が情報発信の拠点となるのが特徴と言える。立地条件も活か

たイベントの実施や周遊ルートの構築などで交流人口を増やし、住んでみたくなるまちづくりに必ずつながるものと確信している。優位性を十分に活かした経営、運営を行い、町全体の魅力や情報発信、そして町の活性化につなげていきたい。

#### 町長

交流連携が重要ではないか。



村上正勝議員

定住はなかなか大変である。地域に5年間住むと住宅がタダになるとか、農業用地を与えるなどの思い切った政策も必要ではないか。



応援団ツアーでも交流人口が拡大

### 水辺の小楽校の存在を知らせてほしい

**問** 徳江地区の水辺の小楽校は、震災から5年半が過ぎ

ようやく国土交通省で整備にかかった。町でも積極的に整備し、広報や看板を立てることにより町民に存在を知らせてほしいが、町としての考えは。

#### 建設課長

施設自体が国土交通省の施設であり、町が積極的に看板を設置できる状況ではない。管理者である国土交通省と相談しながら検討する。

**問** 水辺の小楽校に設置されているトイレはさまざまな人が利用するが、除染は完了しているのか。

#### 原発災害対策課長

河川敷の除染は町からもお願いしており、福島河川国道事務所で線量の測定は行った。今後線量に応じて除染が行われると考えている。また、水辺の小楽校も除染対象に入っていると聞いている。



広域化になっても心配ないように長寿・健康づくり講演会

**問** 県内の各保険者の保険会計はさまざまと思うが、本町の保険者の重点事項は何か。

#### 保健福祉課長

県への納付金や標準



### Q 子育て支援推進協議会の充て職の考え方を見直すべき

### A 適任者を選出しよりよい子育て支援につなげる



渡辺勝弘議員

要望は早急に指導員とともに対応している。また、「国見町子育て支援サービスに対する苦情等事務処理要綱」を制定し、第三者委員を設置した。指導員からの要望等は、その都度改善している。

**問** 現場で、保護者からの要望がクレームとして扱われていると聞こえてくるが、状況をどう考え、どのような対策をしているのか。

**教育長** 保護者からの要望をクレームとして扱ったことはない。もしクレームとして扱われていると感じるのであれば、指導員と共に丁寧に対応していきたい。また、第三者委員という新たな窓口があるので活用してほしい。

**問** 子ども子育て支援推進協議会が設立されたが、委員が地元の方々の充て職としての方々の充て職を見直すべきではないか。

**教育長** 要綱に当てはまる経験者・適任者を選出しており、大学教授など町外の方も複数名入っていた。ただ、いろいろな方の意見を活かしながら今後もよりよい子育て支援につなげたい。

**問** 子どもクラブ運営における現状をすべて把握しているのか。

**教育長** 平成27年4月の子ども子育て新制度により、量的・質的に活動を健全に行っている。児童125名が利用し、指導員14名を配置

して屋内スポーツやサツマイモ作りなど様々な活動を児童と共に活動している。

**問** 保護者からの意見・要望に対してアンケートなどを行っているのか。

**幼児教育課長** 意見・要望についてのアンケートは毎年行い、結果を踏まえて改善に結びつけている。今年度は、1月下旬に実施予定である。

**問** 指導員の中で、中心的な役割の方を確立すべきではないか。

**教育長** 現在は資格のある方が主任をされており、今後配置できるように考えていく。

**問** 保護者・指導員からの意見・要望はどの様に対応しているのか。

**教育長** 保護者からの意見・要望は、保護者からの意見・要望を踏まえて改善に結びつけていく。今年度は、1月下旬に実施予定である。



育てたサツマイモを収穫

## 地方議会の課題と活性化策は

### 町村議会議員研修会

平成28年10月31日、郡山市のビッグパレットふくしまで福島県町村議会議長会主催の議員研修会に参加しました。

「地方議会の課題と活性化策 地方創生と地方議会の役割」と題し、読売新聞東京本社編集局企画委員の青山彰久氏の講演がありました。

石橋文登氏より、今後の政局など面白く講演をいただきました。

(報告者 渡辺勝弘)

## 福島第一原子力発電所を視察

### 議会行政調査

平成28年11月10日、福島第一原子力発電所を視察しました。

### 復興はまだ遠く

バスを乗り換えたJヴィレッジから原子力発電所までの車窓からの景色は想像を絶するものでした。田んぼは荒れ放題、がれきの山は手付かず、歩く人は誰一人いなく、現地の復興はまだまだ先にあるように思えました。

がれき処理も動きが見えませんが、高い放射線量のために一度に作業できないと確認しました。その後、東電からの説明、質疑応答を行いました。

(報告者 渡辺勝弘)

- 地方議会の役割は、自治体の立法機関
- 地域の政治的争点や政策情報を集約して公開
- 政治家を訓練する
- 首長と行政機関を監視することであり、地域づくりは地域に対する人々の情熱と知恵と努力の結集です。失敗から最終的な成功に導くことが必要であり、議員の役目であると考えます。



県内の議会議員が集まり地方の課題を学ぶ

建屋は高い  
放射線量  
原子炉の建屋をバスの中から見学しました。



線量が高く視察はバスの中から



# 歴史まちづくり及び 地方創生の先進地調査

## 総務文教

10月18日、19日、歴史的風致のあるまちづくりの先進地山形県鶴岡市と、地方創生の先進地同県川西町の取り組みを視察しました。

### ①鶴岡市の取り組み

鶴岡市は、市街地の歴史遺産と明治時代の開拓地の絹産業、出羽三山神社の合計3つの区域の歴史的遺産を持ち、地域の人々と相談し、協力を得ながらまちづくりを進めています。

古くても良いものは残し、時代に合った必要なのは建築するという考えが参考になりました。

### ②川西町のまちづくり

川西町は、地区ごとに自治会を設け、市から配分された予算を使って、地区に必要なものを自治会で決めて実施していました。最も



市からまちづくりについて説明を受ける(鶴岡市)

# 空き家対策の先進地を調査

## 産業建設

10月17日、18日に空き家対策の先進地である三重県伊勢市河崎地区を視察しました。

河崎地区は、水上輸送により江戸時代中期には大きな問屋街に発展し、伊勢神宮の参宮客で賑わい伊勢の台所として栄えました。輸送が水上から陸上変わった後も街並みや空き蔵が残っ



空き蔵を修復した伊勢河崎商人館で学ぶ

用したまちづくりの拠点と なっています。伊勢市河崎地区の街並み保存と商人空き蔵を活用したまちづくり計画の効果は、長い年月を要すること と思います。(報告者 阿部泰藏)

# あんぽ柿の安定した 生産に向けて

10月28日、伊達市梁川町に新設されたあんぽ柿加工選別包装施設「あんぽ工房みらい」を視察しました。

あんぽ柿は生産者の高齢化や担い手不足により、生産性の低下が顕著になっています。「あんぽ工房みらい」では、あんぽ柿を継承するために先進的技術を導入し、消費動向に合わせた商品の開発を行って安定した生産基盤の確立を図ります。

今までの農家の方々のやり方と食味に違いはないのかなど課題も考えられます



消費者により安全でおいしいあんぽ柿を

# 住民と議会との 良い関係づくりのために

## 広報

10月25日、東京都のシエインパツハ・サポーで行われた広報研修会に参加しました。

### ①「分かりやすく、伝わる 広報誌の表記」

町民に読まれるための配慮が必要で、分かりやすく

伝わる文章にするため、必要なことは、徹底して省くことが大切です。

### ②「読まれて、伝わる議会 広報誌 ドラッカーに学ぶ」

広報誌は住民と議会との良好な関係作りに必要な役目になっています。住民目線で作成して誰に読んでほしいのかターゲット設定をするべきと学びました。

### ③「優秀受賞誌から学ぶ 企画編集」

表紙はシリーズ方式で、住民の写真を掲載していただきました。大きくインパクトのある表題で、読み手に次に何かあるのかを想像させる文章になっていました。

今後も皆様に読んでいただけるように「伝わる」広報誌を作成してまいります。(報告者 渡辺勝弘)



委員全員で読みやすさを追求します

## 一部事務組合報告

※一部事務組合とは  
複数の市町村が、事務の一部を共同で行うために設置する団体

### 入院患者大幅減 などで赤字計上

#### 藤田病院組合議会

10月4日、第2回議会定例会が開催され、平成27年度の決算認定が行われました。

平成27年度決算認定では、高額医薬品や医療機器などの購入および入院患者の大幅な減少で経営状況が厳しくなる中で職員が一丸となり経営改善に努めましたが、4079万円の赤字計上となりました。

### ◆収益的収支決算額

収入 58億9771万円  
支出 59億3850万円

### ◆資本的収支決算額

収入 1億67770万円  
支出 4億9767万円  
(収支差引不足分は、過年度分損益勘定留保資金で補いました。)

#### (報告者 阿部泰藏)

### 南分署の庁舎屋上 防水工事などを補正

#### 伊達地方消防組合 議会

10月24日、第2回議会定例会が開催され、平成27年度の決算認定のほか、財政調整基金の積立金や南分署の庁舎屋上防水工事等の平成28年度補正予算などが審議され、すべて可決されました。

### 平成27年度決算認定

収入 24億9201万円  
支出 24億5495万円

#### (報告者 渡辺勝弘)

### 計画的な事業執行に より黒字計上

#### 伊達地方衛生処理 組合議会

10月24日、第3回議会定例会が開催され、平成27年度決算認定、平成28年度補正予算など6件の議案が審議され、すべて可決されました。

### 平成27年度決算認定

歳入 46億6369万円  
歳出 46億5590万円

(決算額は一般会計、し尿処理事業特別会計、ごみ処理事業特別会計の合計)

#### (報告者 浅野富男)



# 地域課題の解決へ向けて

## 地方自治研究交流セミナー報告

伊達郡三町(国見、桑折、川俣)が抱える地域課題を解決するため、地方自治研究交流セミナーが開催されました。福島県町村議会議長の主催によるもので、全4回の開催が予定されています。

### 経済の局面から考える

#### 人口減少社会への対応

第1回報告  
11月7日

講師 福島大学 初澤 敏生 教授



説明はスライドを使ってわかりやすく

桑折町の屋内温水プール・多目的スタジオ「イコーゼー」において第1回のセミナーが開催されました。国全体で事実として発生している人口減少問題が、最も顕著に表れているのが地方です。今回の講演は、経済の発展との関係に視点を向けたものでした。人口が増えれば生産性が上がり需要も拡大し、経済の好循環が生まれて停滞な

く発展していきます。このようなことから考えると、現在、人口が減少する中で地域社会をどう存続させるかで頭を悩ませています。異なる視点で見ても必要があることに気づかれます。生産と消費がみ合わないことで経済は停滞しており、この状態からどうにか抜け出したいというのが人口減少を理由にしている地方創生かと思えます。ただし、人口増は歓迎しますが、経済面だけでなく、人類史的、地域の社会性など多方面からの取り組みとならなければ、過疎を作ることになるでしょう。地方の人口は少なくても、そこで生活が続けられれば何の問題もありません。田舎での生業が保障されればそれで良いのです。

(報告者 浅野富男)

## 自治体の負担が大きい地方創生計画

### 地方創生と地方議会の役割

第2回報告  
12月20日

講師 福島大学 功刀 俊洋 教授



質疑応答も活発に行われました

国見町観月台文化センターにおいて第2回のセミナーが開催されました。主題の地方創生については少子化による地方の疲弊について自治体消滅論を引き合いに論じられました。ただ、講師によると現実的にこの計画を進めるためには無理があり、とりわけ計画策定にかかる自治体の負担が大きいことと、計画についても数値目標が主眼であることから否定的な話となることが多いと、終わりにというところで、補助金の罫にはかか

(報告者 浅野富男)

## 傍聴者からの声

12月議会を傍聴したみなさんから意見・要望をいただきました。  
(アンケートへのおもな回答)

- 議員の日常の活動が見えない。(60代・男性)
- 同様な内容の質問は事前に調整してほしい。(60代・男性ほか)
- 一般質問通告書が配布され大変参考になったので継続してほしい。(70代・男性)
- 質問者の順番が受付順とはわかりやすくして良い。(70代・男性)
- 質問はもう少し調べてからしてほしい。問題点をあぶり出してほしい。(60代・男性ほか)
- 一般質問の開会時間を早めてほしい。(80代・男性)
- 答弁者が資料は全部町長だが、町長以外がないのはなぜか。(60代・男性)
- 自分の質問として書いた文字が円滑に読めない。(60代・男性)
- エネルギー関連の問題は国会レベル。もっと当町に関するレベルの事案とされたい。また、阿津賀志山は町のシンボルでできるところから整備に着手しないのはおかしい。町民の要望でもある。(50代・男性)
- 町側の答弁に積極的な姿勢が欲しい。阿津賀志山整備とはどんな考えか。(60代・男性)
- 議場に国旗・町旗の掲示を願う。(80代・男性)

## 議会の動き

12月6日～9日	12月議会定例会
12月6日	全員協議会、総務文教常任委員会、産業建設常任委員会
12月7日	議員懇談会、広報常任委員会
12月9日	議会運営委員会、全員協議会
12月10日	舟山恵美子氏「優勝」お祝い会
12月11日	川俣町役場新庁舎落成式、川俣町合併60周年記念式典(川俣町)
12月14日	東日本大震災復興旧復興対策推進国見町町民会議役員会
12月15日	第21回義経まつり第4回実行委員会 町叙勲・各種表彰祝賀会
12月17日	町青少年健全育成推進町民大会 公立藤田総合病院白藤会忘年会(福島市)
12月20日	地方自治研究交流セミナー(第2回)、町合同懇談会
12月22日	伊達地方衛生処理組合議会全員協議会・議会臨時会(伊達市) 伊達地方衛生処理組合議会議員視察調査(新潟県～23日)
12月23日	あつかし山ビッグツリー点灯式
12月25日	道の駅プレ・パーティー
12月26日	福島地方土地開発公社国見町評議委員会 公立藤田総合病院組合議会臨時会
12月27日	東日本大震災復興旧復興対策推進国見町町民会議
1月4日	町職員表彰式、町新春賀詞交歓会 交通三団体交通安全祈願祭、広報常任委員会
1月5日	「明日へ。復興・きずなイルミネーション」クロージングパーティー
1月8日	町消防団出初式、町成人式
1月10日	町文化財センター「あつかし歴史館」オープン式典 国見地区建築業組合定期総会
1月11日	総務文教常任委員会、知事懇談会(福島市)
1月12日	産業建設常任委員会
1月13日	広報常任委員会
1月18日	地方自治研究交流セミナー(第3回、福島市)
1月19日	議員懇談会、奈良県大和郡山市視察来庁
1月20日	伊達郡町村議会議長会議、新春懇談会(福島市)



議場でのやりとりに耳を傾ける傍聴者

## 議会傍聴をしてみませんか

次の定例会は3月2日  
開催予定です

- **手続きは簡単です!**  
受付簿に住所・氏名などを記入するだけで気軽に傍聴できます。
- **議案資料を準備します!**  
議案審議がわかりやすくなるよう、傍聴者には議案資料を提供します。

詳しくは議会事務局へ  
お問い合わせください。  
TEL 585-3295(直通)





需要を創造する

29年前のことを思い出した。静岡県磐田市の企業が無人ヘリコプター（以下無人ヘリと略す）を販売することになった。私が勤めていた会社も販売店となり営業担当者会議に招集された。当時の無人ヘリは自動飛行システムなど搭載されておらず、操縦者の目視による飛行であり熟練した技量が必要とされた。安全飛行はもとより産業用として売り出すには、他にも多くの課題を抱えてのスタートであった。

会議の中で事業責任者から「需要を創造する」との言葉が発せられた。無人ヘリを売



佐藤 和夫さん

(第3町内会)

り込むといつてもすぐに買手が現れるわけでもない。認知度も低い。当人は無人ヘリに関わる情報の広報が仕事であり、需要を創造することが第一歩であった。

今回、寄稿の要請があり改めて国見町を考慮することになった。太田町長が就任されて以降、大震災からの復興再生を中心とした活力あるまちづくりが強化されてきた。

新しい施策やイベントが今までに無く増加し、町の産業内外に発信されている。このような町の取り組みを見てみると、かつて自分が経験した無人ヘリの「需要の創造」に繋がるものがあるのではないかと感じ、当時を思い出しペンを執った。

今年5月には道の駅がオープンすると聞いている。また一つ、新しい情報と交流の拠点が生まれ運営されることを期待している。

あつかし歴史館がオープン



施設について職員から説明を受ける

総務文教常任委員会

1月11日、総務文教常任委員会で、前日の10日にオープンした「あつかし歴史館」を視察してきました。旧大木戸小学校が、歴史や文化の保存の場、地域の憩いの場として生まれ変わりました。

編集後記

今年も成人式が盛大に行われ、88人の方が新たに大人の仲間入りをしました。洋々たる前途を祝福いたします。成人式が文化センターのホールで行われるのは3・11大震災後2回目になります。大震災からの復興が着実に進んでいると実感できることの一つと言えるものです。

しかし、原発事故からの影響はまだまだ残っています。特に福島の農産物に対する評価は事故以前に戻っているとは言えません。一刻も早く風評被害が完全になくなることを望みます。

今年成人となられた方は中学2年生で震災の体験をしています。今では復興の兆しも見えてはいますが、まだ時間がかかりそうです。将来を担う若い世代に未来を託すとともに、議会もまちづくりに尽力していきたいと思えます。  
(浅野 富男)

- 発行責任者 東海林一樹  
議長  
広報常任委員会  
委員長 渡辺 勝弘  
副委員長 佐藤 定男  
委員 浅野 富男  
同 阿部 泰藏  
同 松浦 常雄  
同 村上 一